



第69回日本大腸肛門病学会学術集会

平成26年11月7日(金)～8日(土)

会長 松 島 誠

松島病院大腸肛門病センター 院長

第69回日本大腸肛門病学会学術集会を平成26年11月7日(金)～8日(土)に横浜みなとみらい21地区で開催いたします。

本学術集会の横浜での開催は、昭和53年に恩師横浜市立大学第2外科(現消化器・腫瘍外科)土屋周二名誉教授が第33回総会を、平成14年土屋門下の福島恒男先生の第57回総会に続いて12年ぶりの事です。さらに土屋名誉教授は本学会の理事長を1995年まで9年間勤められましたし、現理事長は第2外科出身の横浜市民病院副院長杉田昭先生であります。このように第2外科と深いつながりのある学会の学術集会を開催できることは大変名誉なことであり、ひとえに先輩医局員及び現医局医員の先生方のご努力と実績の賜物と感謝申し上げます。

学術集会副会長は本学消化器・腫瘍外科学遠藤格教授と東邦大学大森病院消化器センター船橋公彦准教授のお2人をお願いいたしました。

さて、今学術集会のメインテーマは、「Ba(場) - 共創と発信 繋がる大腸肛門病学 -」と致しました。本学会は大腸肛門病学に関係する内科・放射線科・病理学・外科・肛門科の医師や看護師、技師、薬剤師などの広い領域の会員を擁し、さらに扱う疾患の病態は炎症・腫瘍・機能・精神神経など多岐にわたる為、集学的な研究や意見交換が行いやすい理想的な学会であります。そこで今回の学術集会が専門領域、職種、経験、世代の垣根を越えて様々な人と情報を交換し、共に新たな知見を見出し広く医療現場や世界に発信するBa(場)となる事を願って本テーマに致しました。

特別講演・招請講演・教育講演では世界と日本の第一人者による有益な講演内容を準備いたしました。また特別企画として本学会の領域の一つであるIIb:肛門科領域に注目して、肛門疾患の基礎から最新の概念・診断・治療までの合計8つのテーマを一つの会場で一日中通して学べるという企画を設けました。そのほか、シンポジ

ウム、ビデオシンポジウム、ワークショップ、パネルディスカッションには今話題となっているテーマを取り上げその分野の最新の情報を得られるようにいたしました。大腸肛門領域の第一線で活躍されている先生方や若手医師たちの研究や診療の成果を発表して議論いただく事で、明日に役立つ知識の吸収と情報交換と友好を深め、さらには新たな友と出会うことができるように多数のご参加をお願いいたします。

また学術集会翌日の11月9日には市民公開講座「おなかとおしりの健康フォーラム」(仮)を横浜ランドマークプラザ5階ランドマークホールにて、日本大腸肛門病学会など諸団体の後援を得て開催予定であります。

浅学非才の身でこのような重責を担うこととなりましたが、同門会の名に恥じないよう学術集会を成功させるべく鋭意準備いたしておりますので、同門会諸先生方のご協力ご指導をお願い申し上げます。

第69回
日本大腸肛門病学会学術集会
The 69th Annual Meeting of
Japan Society of Coloproctology

2014.11/7 (FRI)
11/8 (SAT)

■ 横浜ベイホテル東急
パシフィック横浜
ヨコハマグランド
インターコンチネンタルホテル

■ 松島 誠 松島病院大腸肛門病センター
遠藤 格 東京医科大学消化器科 准教授

■ 船橋 公彦 東京大学医学部消化器科 准教授

■ 日本エソロジーセンター株式会社
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1 日本エソロジービル1F
TEL:03-5561-1111 FAX:03-5561-1112

事務局電話 2014+3+4日+4+22日(水)
<http://www2.convention.co.jp/69jscp>

場
Ba
共創と発信
繋がる大腸肛門病学